

部長会議（定例会）報告書

令和3年4月2日(火)

3階第2会議室

1. 訓示

市長

<新年度にあたって>

- ・今回の人事異動によって、新たに2名が部長級に昇格となった。新年度として、全員が、気持ちを新たに全力で職務に取り組んでいただきたい。
- ・部という大きなチームのリーダーでありマネージャーとして、部下とのコミュニケーションは当然のこと、部長同士の横の連携と情報共有を十分に図り、組織の力を最大限に発揮できるよう、リーダーシップとマネジメントをお願いしたい。
とりわけコロナ禍において、コミュニケーションの量が少なくなっているの中で、部下とのコミュニケーションの量を増やすこと、また、庁内のみならず、庁外の方とも可能な限りコミュニケーションを取って、市政運営にあたっていただきたい。
- ・今日の社会は劇的に変化しており、これまで当然と考えられていた概念や価値観が崩れ去り、これまでの仕事のやり方では通用しなくなっている。発想を転換し、新たな技術やアイデアを積極的に取り入れ、一歩先を見据えた対応をすることが求められている時代である。
- ・このことを、部局のトップとして肌で感じていただき、イノベーションを進めていくという姿勢・気構えを自らが持ち、それを部下に示して欲しい。部下の手本となるような、組織づくり、職場の雰囲気づくりをお願いする。

<新型コロナウイルス対策>

- ・2度目となる緊急事態宣言が解除されたものの、報道にもあるように既に第4波の懸念も見え始めている。新型コロナへの対応に明け暮れたこの1年、皆さんの、迅速かつ機動的な対応に感謝している。しかしながら、この先も続くコロナとの戦いは、行政の最大の課題として認識し、引き続き、対応していただきたい。
- ・その中でも、ワクチン接種に向けた着実な準備を、全庁的な協力体制のもと、最優先で進めて欲しい。また、基本的な感染予防、感染拡大防止対策の継続はもちろん、長期化するコロナの影響によってダメージを受けている経済への対策、市民への生活支援について、引き続き、しっかりと対応していくことをお願いする。
- ・危機的な状況の中で、行政に対する期待感が高くなると同時に、その対応には厳しい目が向けられることとなる。このような時であるからこそ、信頼を損なわないよう、市民の暮らし・地域経済を支えるために、しっかりと市民・事業者の声を聞いて、全力で対応していただきたい。
- ・また、最近では、感染力がより強いとされる新型コロナウイルスの変異株の感染者が、国内でも広がっている状況にあることから、自身はもとより、行政職員としても細心の注意を払い、徹底した感染防止対策のもと、業務にあたっていただくようお願いする。

<総合計画の着実な推進>

- ・新型コロナウイルス感染症への対応と並行して、コロナに負けない持続可能なまちづくりを進めていくためにも、総合計画の着実な推進をお願いする。
- ・後期基本計画に位置付けた「SDGs」の視点にもとづいた、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの実現に向けた取り組みを、より一層推進すべく、2月5日には“デジタルファースト宣言”を、先月3月24日には“桑名市ゼロカーボンシティ宣言”を行ったところである。
- ・まず、“デジタルファースト”については、これからの時代に必須となる考え方であり、冒頭でも申し上げた「イノベーション」という視点で、あらゆる分野へのデジタル技術の活用を、専門的な人材の知見も得ながら、考えていただきたい。
- ・また、“ゼロカーボンシティ”については、社会的な課題である環境への取り組みとなるが、これは、行政、市民、事業者が連携をしなければ実現しない非常に大きな課題であると認識している。組織改編により総務部に設置した「グリーン資産創造課」を中心に、まずは行政にできることからスタートし、市の環境と経済の好循環を生み出す取り組みとなるよう進めていただきたい。
- ・そして、これらの“デジタル”、“ゼロカーボン”の取り組みにあわせて、これまでも“3本の柱”として示してきた「防災力の強化」「スマート自治体への転換」「確固たる財政基盤の確立」に向けた取り組み、そして、これまで継続して進めてきた「駅周辺整備」「福祉ヴィレッジの整備」「小中一貫校整備」をはじめとした“重点プロジェクトの推進”、そして、市民満足度調査の結果から見えた市民生活に密着した課題である“3つのミッション”（公共交通、防犯・交通安全、道路）についても、着実に取り組みを進めていただきたい。
- ・このように、時代にあった理念を持ち、いくつもの取り組み重ねることが、本市が目指す持続可能なまちづくりのかたちであり、いずれの取り組みも、“ゴール（めざす姿）”をしっかりと共有し、職員・組織が一つのチームとなり、市民や関係者と必要に応じた丁寧なコミュニケーションを取って、信頼関係を築きながら取り組みを進めていただきたい。
- ・最近感じられるのが、課題認識の甘さや、合意形成が不十分であったりする事案が見受けられるので、全庁的なコミュニケーションと情報共有をしっかりと図っていただきたい。庁内で部局間の合意形成が必要な事案については、調整会議の開催など、関係者での調整を十分に図っていただきたい。
自身の部署では最適と思っていることも、全体で見ると違う方法が考えられる場合もあるので、しっかりと情報共有をして取り組むという意識を持っていただきたい。
また、あらためて言うまでもないが、いわゆる“ハウレンソウ”を、適切なタイミングで行うことをお願いしたい。
- ・また、毎年申し上げているが、議員の声についても、私まで報告を上げていただきたい。組織的な対応として、何を要望してきているのか、共有すべきことであるので、しっかりと情報を上げていただきたい。

<最後に>

- ・良い仕事を行うためには、心と身体の健康が第一である。ご自身はもとより、部下の健康管理にも日頃から十分に目を配っていただきたい。時代にあった働き方と職場環境づくりを進め、ワークライフバランスを図りながら、それぞれの職務を全うしていただきたい。

副市長

お願いとして2点。

- ・全庁的なコミュニケーション・情報共有を、しっかり取っていくということをお願いしたい。その中で、補足的になるが、財源やスケジュール、方策等の設定が難しい課題について、早期に情報共有を図り、対処方法を検討していきたいと考えているので、協力をお願いしたい。
- ・新たな取り組みとして、全国的なテーマである“DX”と“グリーン社会”への取り組み、また桑名市においては、不当要求への対策について、新たな組織も設置しているが、関係部署だけではなく全庁的な取り組みをお願いする。また、それに合わせた KPI、目標設定をしっかり行い、真摯に取り組むを進めていただきたい。

2. 新任挨拶

教育長

教育部長

上下水道部長

理事（防災・危機管理担当）

保健福祉部理事

地域コミュニティ局長

3. 報告事項

- ・令和3年度予算の執行について（総務部）
⇒ 資料にもとづいて説明（総務部長）
 - ・特に留意して欲しい点として、令和3年度は市税収入が減となる予算となっているが、令和4年度も厳しい編成となることが想定されることから、年度当初から、改革重視の予算執行に努めていただきたい。
 - ・また、がんばり ”見える化” 予算を有効に活用していただきたい。先日、表彰を行ったところだが、若い職員の取り組みも増えている。改革マインドの向上として、制度の積極的な活用についてご協力をお願いしたい。
- ・令和3年度 監査実施計画について（総務部）
⇒ 資料にもとづいて説明（総務部長）